

ふれあい

主な内容

- 三世代交流レクリエーション 1P
- 会長就任挨拶 1P
- 平成27年度 総会報告 2P
- あれや・これや/私のたのしみ 3P
- 実践部委員会交流会 3P
- 部会だより 3P
- 一中地区防災マップ/他 4P

●発行所/ひたちなか市長堀町 3-4-1 (1中地区コミュニティセンター内) 電話 029-275-2671 ●発行責任者/坂井 久彦 ●編集/広報委員会

和気あいあい!! 三世代交流レクリエーション

6月7日、石川運動ひろばで体育部会主催の「第12回三世代交流レクリエーション大会」が行なわれました。各自治会より、小学生から90歳代の方まで274人が参加し、輪投げ・グラウンドゴルフ・ペタンクを楽しみました。



輪投げ：21チーム 82人



ペタンク：13チーム 50人

ねらいを定めて!

どっちが近い?



がんばって (^_^)



気持ちはホールインワン!(^^)!

グラウンドゴルフ：36チーム 142人

ナイスショット!



種目 順位	輪投げ	グラウンドゴルフ		ペタンク	
		団体	個人	一般	混成・家族
優勝	富士山クラブA	東中根団地A	下夕村修 (東中根)	中根ときわ会A	中根ときわ会
2位	薬師台多宝会A	富士山団地A	中村 誠 (富士山)	中根ときわ会B	大平第一睦会
3位	中根ときわ会A	東中根団地B	片岡さち子 (三反田)	富士山団地B	ひらトリオ (西中根)

会長就任挨拶



一中地区地域の
ふれあいを広める会
会長 坂井 久彦

この度「一中地区地域のふれあいを広める会」会長及び「1中地区コミュニティセンター」館長を兼務で就任致しました。改めて任務を担う責任と使命の重さを心に刻んでいく所です。前会長の大和田さんのように万事滞りなく進行出来るか不安ですが、皆様のご支援・ご指導をいただき精一杯努めてまいります。

皆様ご存知のように少子高齢化が進み、地域も変わりつつあり、行事を行う上で影響が出ています。これは地域が抱えている一番大きな問題です。他にも多くの課題がありますが、皆様の知恵を拝借して活性化させ活動的な地域を作るため努力いたします。

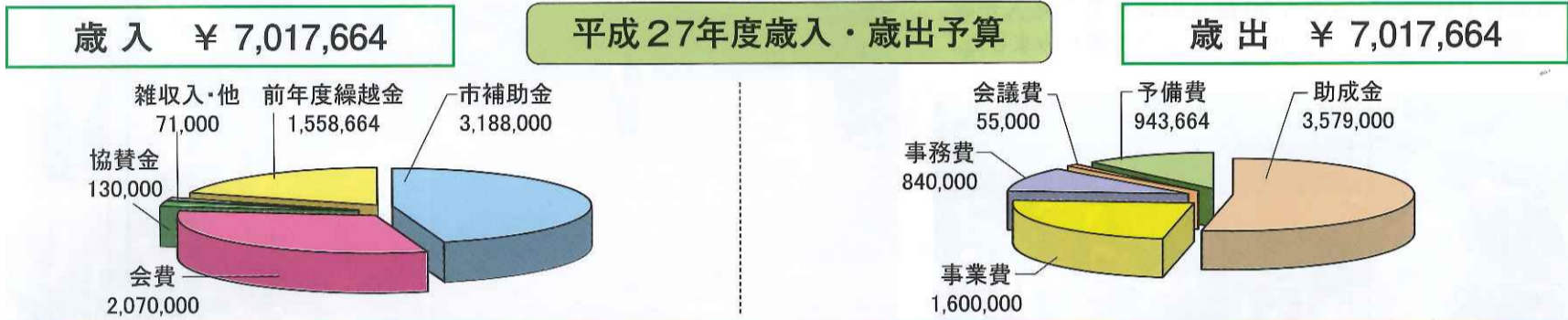
一方、1中コミセンの管理運営が市から移管されて二年。この間、センター関係者と行政との密接な協議及び、地域の方々のご理解とご協力により順調に運営されております。利用しやすく愛される施設を目指し、これまで以上に施設の利用者や地域の声を尊重し、心から満足出来るよう充実を図ってまいります。今後とも、気軽に1中コミセンをご利用ください。



平成27年度 一中地区地域のふれあいを広める会 総会報告

4月26日、1中地区コミュニティセンターで、市長はじめ多くの来賓を迎え、代議員・役員などが出席し、平成27年度定期総会が開催。審議したすべての案件は原案通り可決されました。また、理事4年・副会長4年・会長9年と永年にわたりコミュニティ活動に貢献された会長の大和田敬治氏と、理事の清水進氏（金上自治会長）・理事の近藤保夫氏（体育部長）が退任され、感謝状が贈呈されました。

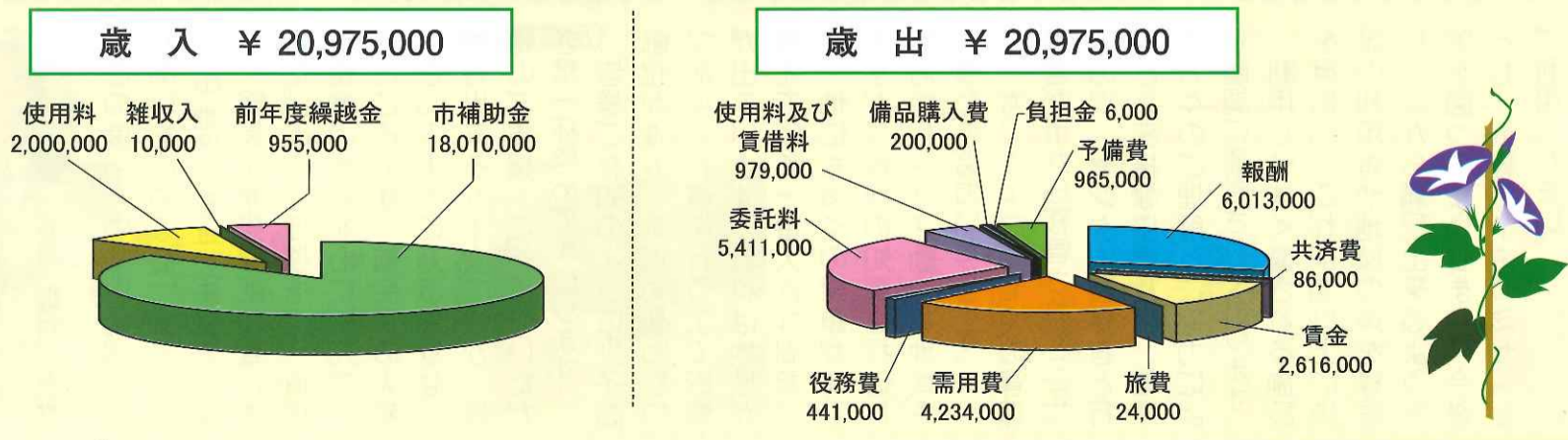
顧問 寺山 一郎・下村 修 遠藤 良子・大和田敬治		一中地区地域のふれあいを広める会（本会）		本会予算 ￥3,438,664	
会長 坂井 久彦	理事 10自治会長・6部会長・広報委員長	事業 4/26 総会	12月	ひたちなか市コミュニティ組織連絡協議会	
副会長 原 健三	監事 大内 勝利・小松澤 勝雄	10/11 第21回秋季大運動会	2/20	芸能音楽祭	
副会長 盛口 祥子	事務局 川島 博・伊藤 昭子・菊池 喜代子	10/22・23 理事視察研修	随時	那珂川グランド運営管理	
副会長 山田 俊		11/14・15 コミュニティまつり	随時	各種会議・ホームページ運営など	



<p>地域部委員会 事業費 ￥40,000 委員長 原 健三</p> <p>事業 10/22・23 理事研修会 11/14・15 コミュニティまつり 随時 まちづくり市民会議・委員会など</p>	<p>実践部委員会 事業費 ￥50,000 委員長 盛口 祥子</p> <p>事業 5/31 交流会 11/14・15 コミュニティまつり 随時 委員会</p>	<p>広報委員会 事業費 ￥819,000 委員長 伊藤 昇</p> <p>事業 広報紙「ふれあい」年3回発行 随時取材・編集 5/28 デジカメ撮影研修会 9月 コミュニティまつりチラシ作成</p>
<p>体育部会 事業費 ￥715,000 部会長 川又 吉次</p> <p>事業 4/12 第39回ソフトボール大会 5/17 第5回ヘルスパレーボール大会 6/7 第12回三世代交流レクリエーション大会 7/25 理事研修会 10/11 第21回秋季大運動会 2/14 第11回ファミリーバトミントン大会 3/8 第17回ゴルフ大会</p>	<p>青少年部会 事業費 ￥476,000 部会長 岡田 栄子</p> <p>事業 7/4 親子クリーン作戦「市教育の日」 7/25 三世代ふれあいチャレンジ教室 1/9 まゆ玉づくり 2/6 親子ふれあいスキー</p> <p>参加事業 7/9 少年の主張大会 10/9 青少年育成指導者研修会 2月 健全な家庭づくり振興大会 年3回 一中生健全育成の会</p>	<p>福祉部会 事業費 ￥330,000 部会長 岡田 豊勝</p> <p>事業 6/14 子育て支援（パパも参加） 6/29 地域福祉講習（1） 9/18 部会研修 2/29 地域福祉講習（2） 月2回 特養老人ホーム「はまぎくの里」訪問 10月 はまぎくまつり</p> <p>子育てサロン 第1水曜日 おあしす@中根 第3水曜日 おあしす@金上 第4火曜日 おあしす@長堀</p>
<p>文化部会 事業費 ￥440,000 部会長 盛口 祥子</p> <p>事業 6/5 移動研修会 11/14・15 コミュニティまつり 2/20 芸能音楽祭</p>	<p>安全防災部会 事業費 ￥285,000 部会長 長岡 明美</p> <p>事業 6/17 視察研修 7/17 交通事故防止啓蒙活動 8月 安全教室 11月 交通事故防止啓蒙活動</p>	<p>環境部会 事業費 ￥445,000 部会長 三浦 秀夫</p> <p>事業 5・10・2月 地区内巡視活動 6/15 自然環境に親しむ会（三世代交流） 6・7・12月 地区内清掃 6・11月 地域美化運動 7/10 視察研修 11/27 行政施設見学</p>

※各委員会・部会の事業費は本会からの助成費と、その他の事業費を含めた総事業費を記載しています。
 ※自治会ごとの事業内容は、各自治会からの案内をご覧ください。なお、各自治会長は以下の通りです。
 尾曲 六郎(勝田駅前南) 川内 勝夫(三反田) 坂井 久彦(大成町) 重田 政之(西中根) 山田 俊(中根) 池田 聡(大平) 武石 利文(勝倉)
 伊野 昂(東中根団地) 土田 良春(富士山) 佐藤 定男(薬師台) 桑原 武夫(長松) 大内 賢一(金上) 原 健三(笹野)

平成27年度 1中地区コミュニティセンター予算



私のたのしみ

漁への熱い想い

根本 一郎さん(77)



毎年、那珂川でサケ漁を行っている根本一郎さんに、漁との関わりについてお話を伺いました。三反田にお住まいの根本さんは、代々サケ漁を行う家で育ち、小さい時からサケ漁をする親について行ったそうです。初めて自分の腕でサケを捕ったのは、鎌倉遠足を控えた小6の時。「サケを売ったお金を持って卒業遠足に行ったのが、一番嬉しかった!」と、笑顔で話してくれました。

その時の感動を胸に、中学を卒業するとすぐ漁師になりました。那珂湊から漁船に乗って、マグロ・カツオ・サンマなどの魚を追いかけ、北は北海道から南は九州まで行きました。当時はいつも大漁で、どこの港も賑わっていました。いろいろな港に立ち寄って違う景色を眺めるのが楽しみでした。10年位続けましたが、だんだん魚が捕れなくなってきた頃、グアテマラに漁の指導を頼まれて行く予定だった時「キューバ事件」が起こり、家族の反対で中止。漁師を辞めました。

その後結婚して、茨交バスの運転手に。仕事をしながらも、休みの日は那珂川で漁を楽しんでいます。

現在は、9月から10月までのサケ漁と、11月は那珂川漁業協同組合の稚魚放流事業の手伝いで漁をしているそうです。「今年もまた、サケ漁の時期が来るのが楽しみ。9月に向けて、網の修理や船着場の草刈りを始めないと」と語る根本さんに、漁への熱い思いを感じました。



那珂湊から漁に出る、根本さんが初めて乗った船

あれや・これや



健康であること ありがたさ

薬師台自治会 佐野 好

昨年10月末、夜7時頃

腹がおかしくなりました。だんだん痛みが強まり冷汗と吐き気がするのので、救急車を呼び、水戸の病院に入院しました。腸捻転と診断され、11月初めに手術。1週間後、傷が化膿していると分かり「耐性菌で薬が効かないから、自分の体力で治すほかない」と言われ、点滴投与を止めました。シャワーで膿を流した後、傷の中にガーゼを詰める治療法に変え「体力をつける為に歩きなさい」と指示されました。しかし体を動かすのが辛く、無理をすると熱も出

るし夜が長く眠れませんでした。大きな手術は過去に2回経験して慣れていても、歳のせいから余計な事を考えたりして心の弱さが出ました。

大谷石で石窯を作ってみませんか

長松自治会 菊池 道子

今回は、頑張って歩くことに専念し、日に日に痛みがとれ膿も出なくなり、12月に抜糸しないで退院。1月末に糸を抜きました。九死に一生を得た様な気持ちです。家に居て自由に動け、用事が出来る事が最高です。

4月から小学生が通学する横断歩道の旗振りをする事になり、皆さんの挨拶の声を聞くとまだまだヤレる事があるな、と思いましたが、



大谷石は、石窯の材料に最適なものを存知ですが。4年前の震災で大谷石の崩壊が原因で「もったいないなあ」と思っていた矢先、石窯が作れることを知って、早速近所から大谷石をもらい集めて作ってみました。窯と言っても積み木のように大谷石を組んだだけの単純な作りです。



大谷石を組んだだけの単純な作りです。

中々薪を燃やして十分熱くなったら熾火を奥に移動して、ピザを入れまがります。そのほかパン・ローストビーフ・パエリア・牛タンの塩釜焼・焼き芋・玉ねぎやパ

ブリカを焼く等など、家族や友人たちと楽しんでいきます。

ご近所の方は扉付きの立派な石窯を作りまして。煙の出るのが心配なら「炭」を使う手があります。残ったきれいな灰は、草木灰として畑や花壇のいい肥料です。私の経験から、一見きれいな人造大谷石は高温で割れてしまうので、石窯には向きません。

実践部委員会交流会

5月31日、実践部委員会の7部会・委員会から約50人が参加して、輪投げ・お手玉カーリング大会が開かれた。この行事は、これまで実践部委員会内の交流があまりなかったもので、親睦を目的で行われた。チームを編成(1チーム5人)し、個人戦・団体戦で競った。経験がある人もない人も、みんな夢中になってプレーを楽しんだ。ゲーム終了後表彰式があり、発表のたびに歓声が。カレーを食べながら懇親会では、「面白かった」「童心にかえった」「ぜひ来年も」等の声があった。



輪投げ競技の様子

部会だより

文化部会

6月5日、42人が参加して移動研修を開催。那須高原への中、禅の修行で名高い雲巖寺・黒羽藩主大関氏の菩提寺である大雄寺を参拝した。午後は、世界各国のオルゴールが約100点展示されている那須オルゴール美術館を見学した。車中では、ギターの伴奏で懐かしい童謡・唱歌を歌い、ふれあいを深めることができた。

環境部会

5月15日、晴天のもと地域巡視を実施。部会員23人が2班に分かれ長松地区のごみを拾い集めた。一見きれいに見える道路脇や側溝にペットボトル・空き缶を多数発見。また、中丸川沿いの雑木林には「不法投棄禁止」の立札があるにもかかわらず家庭ごみ・野菜くず等が捨てられていた。「林の中なら捨ててもわからない」と考えたのだろうか?

体育部会

4月12日、六ツ野グラウンドで第39回ソフトボール大会が行われた。

結果報告
優勝 駅前南
準優勝 三反田

ソフトボールクラブ
3位 大平
ソフトボールクラブ
中根ダイヤモンド

安全防災部会

6月17日、32人が参加して「県高速道路交通安全隊」で、高速道路の運転について研修した。高速道路での事故の確率は低いが起こると大きな事故になる、シートベルトをしないと外に投げ出されるため必ず全席行い、逆走事故が増えているので注意、等の話を聞いた。次に、隊員による交通事故対処訓練を見学し、事故を起こした時の対処法・発煙筒の使い方などを学んだ。

福祉部会

6月29日、1中コミセンで今年度新規事業となる地域福祉講習会「認知症を学び地域で支えよう」認知症サポーター養成講座の第1回目が「南」部会としてより相談センター職員を講師に招いて行われた。寸劇で、実際に例した対応の方法・認知症予防の体操などを行い、重いテーマの中にも和やかな雰囲気であった。今後も継続して開催し、第2回目は来年の2月に予定している。

青少年部会

以前から中丸橋の橋げたに落書きがあり、子どもたちの目に触れさせたくない。3月に先生をはじめ青少年関係の団体や地域の皆さんが共に、ペンキ塗りを行った。そこは毎年、長堀小の児童がサケの稚魚を放流する場所になっている。いつまでも、きれいな橋げたであるよう願っています。



いざという時のために！！（一中地区周辺の防災マップ）

最近また地震が目立ち、4年前の東日本大震災の恐怖を思い出している方もいるでしょう。忘れた頃にやってくる災害に備えて、もう一度、避難場所や備蓄品・緊急持ち出し品を見直してみませんか。



指定避難所には、この看板が立っています。



指定避難所には、この防災倉庫に食料や備品が備蓄されています。

防災の日には、各自治会で一時避難場所に集合してから指定避難所に移動したり、炊き出しをしたりなどの避難訓練を行っています。この地図は、市で指定した避難所及び自治会で設定した主な一時避難場所ですから、地域の避難訓練に参加して、いざという時どのように対応したら良いかを確認しておいてください。（詳しく知りたい方は、各地域の自治会役員や1中コミセン・市生活安全課などにお問い合わせください）

指定避難所にある防災倉庫に備蓄されている主な物

- アルファ米・乾パン（約400食）、保存水（約840ℓ）
- 毛布（100枚）、発電機、LPガス、コードリール、懐中電灯
- ラジオ、乾電池、テント、ティッシュ、トイレトペーパー
- タオル、軍手、マスク、生理用品、おむつ、ビニール袋
- 紙コップ、ゴミ袋 など（1中コミセン備蓄品）

家庭で用意したい非常持ち出し品

- 飲料水、非常食（乾パンなど火を通さなくてもいい物）、懐中電灯、
- 携帯ラジオ、医薬品、衣類、雨具 など
- （持ち出し袋に入れてわかる所へ置いておく）
- 避難時に貴重品、携帯電話（充電器）を持つのを忘れずに！

家庭での備蓄品

- 飲料水、非常食、カセットコンロ、タオル、毛布、ティッシュ、ラップ、
- ウェットティッシュ、ビニール袋 など（時々点検を！）

編集後記

5月28日、現・旧広報委員22人が参加し、いわき市においてデジタル一眼レフカメラ撮影の講習「生き生きした人物撮影のポイント」などについて学習。高野花見山・白水阿弥陀堂・三崎公園などを見学して、写真撮影を行いました。

今年度の広報委員は新たに2人が入りました。これからも、読み易く親しみのある紙面づくりを目指してまいりますので、ご期待ください。

広報委員

- ◎伊藤 昇 横須賀憲次
- ◎横山恵美子 有賀正記
- ◎鈴木一恵 部 恒朗
- 菊地恵子 吉木一美
- 磯 春雄 荒木とも子
- 菊池道子 布施香子
- ◎委員長 〇副委員長
- モ二タ一

大関清見 橋本賢三

